

Kenko



ケンコーデジタルカメラ
DSC808W

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC808W」を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、
安全に正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



目次

はじめに	04
安全上のご注意	05
カメラの紹介	09
セット内容	09
各部の名称	10
ボタンの機能を紹介します	11
ご使用前に	13
乾電池の取り付け	13
アルカリ乾電池に関する安全上の注意	14
電源のオン/オフ	15
ストラップの取り付け	15
SD/SDHCメモリーカードを使用する	16
SD/SDHCメモリーカードを取り付ける	16
SD/SDHCメモリーカードを使用する前に	17
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	17
メモリーのフォーマット	18
LEDランプ表示	19
モードの変更	19
日付/時刻の設定	20
言語の設定	21
静止画モード	22
静止画の撮影	22
静止画モードの操作画面	23
撮影距離	24
ズーム撮影	24
内蔵フラッシュ	25

静止画再生モード	26
静止画の再生	26
静止画ファイルのサムネイル表示	27
静止画再生モードの操作画面	28
動画モード	29
動画の撮影	29
動画モードの操作画面	30
動画再生モード	32
動画の再生	32
動画再生モードの操作画面	33
機能設定	
静止画メニュー	34
静止画サイズ	34
画質	35
シーン	36
露出補正	37
ホワイトバランス	38
色効果	39
日付プリント	40
セルフタイマー	41
連続撮影	42
動画メニュー	43
動画サイズ	43
静止画再生メニュー	45
消去	45



目次

〈一枚消去〉を選択した場合	47	パソコンとの接続	62
〈全消去〉を選択した場合	47	カメラとパソコンの接続	62
スライドショー	47	パソコンに接続する	62
DPOF	48	マストレージ	62
〈選択DPOF設定〉を選択した場合	48	転送時のご注意	63
〈すべてDPOF設定〉を選択した場合	49	ソフトウェアについて	64
保護	50	ドライバー	64
〈一枚保護〉を選択した場合	50	トラブルシューティング	65
〈全保護〉を選択した場合	51	カメラ操作時のトラブル	65
〈選択保護〉を選択した場合	51	仕様	66
動画再生メニュー	52	記録可能枚数/時間の目安	66
音量	53	仕様	67
ダイビングモード	54	パソコンの動作環境	68
ダイビングモード	54	保証規定	70
基本設定	55	保証書	71
設定メニュー	55		
初期設定に戻す	55		
自動電源オフ	56		
電源周波数	57		
テレビ出力方式	58		
ピープ音の設定	59		
静止画のプリント	60		
静止画のプリント	60		
テレビとの接続	61		
テレビとの接続	61		



はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC808W」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、
当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。
使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。



安全上のご注意

必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

⚠ 危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所（真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど）で使用、保管しないでください。

⚠ 警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離（1メートル以内）でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手で電池／SDカード室カバーを開けないで下さい。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。



安全上のご注意

必ずお読みください。

警告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあって窒息の原因になることがあります。

注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、温度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので、使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニターが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。
- ラジオやテレビのお近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。



安全上のご注意

必ずお読みください。

防水性能

- カメラの防水性能は、IPX8相当です。
- 水中でのカメラの防水性を維持するために、連続して60分以上使用しないでください。
- 付属のアクセサリは防水ではありません。

水中で使用する前の注意

(砂だらけまたは埃っぽい環境、または水辺で次の行為を行わないでください)

- 乾電池・SDカードスロット・ミニUSB端子の周りが汚れていないことを確認し、埃や砂、または異物が中に入らないようにしてください。
- 電池/SDカード室カバーのゴムパッキンに亀裂や傷が付いていないことを確認してください。
- 電池/SDカード室カバーが閉じ、ロックがされていることを確認してください。
- カメラに異常がないことを確認します。カメラを落とした場合、販売店で故障していないか確認するようにお勧めします。

通常使用の場合の注意

(付属USB-PC/TV接続ケーブルをコンピューターに直接接続する場合、またはテレビに接続する場合、電池/SDカード室カバーに触れてゴムパッキンを傷つけないように注意してください。防水性能が失われる原因となります)

- 水辺(海、湖、海岸など)で電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
濡れた手、または砂や埃の付いた手でカバーを開けたり閉じたりしないでください。
- カメラに使用するアクセサリ(バッテリーなど)は防水ではありません。使用の際は十分に注意してください。
- 防水性が失われることになるため、カメラを落とさないでください。
- 防水性が失われないように、40℃以上または0℃以下の温度環境にカメラを保管しないでください。
- ご自分でカメラに防水を施したり通気口を密閉したりしないでください。カメラの防水機能が損なわれる原因となります。

カメラを水中等で使用するとき

- カメラの防水性は真水と塩水にのみ適用されます。洗剤、化学薬品、または温泉水には適用されません。このような液体がかかった場合、直ちに拭き取ってください。
- 水深3.0m以上の水中では使用しないでください。
- カメラを圧力のかかった水に浸けないでください。
- 60分以上長く、水に浸けないでください。カメラを水中で60分使用したら、10分以上乾かしてください。
- カメラを35℃以上の温水に浸さないでください。
- カメラが濡れているたり水中にある場合、電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
- 濡れた手で電池/SDカード室カバーを開けたり閉じたりしないでください。
- 水気のあるところやプールの傍で電池/SDカード室カバーを開けないでください。
- カメラは防塵処理を施されていません。
- カメラを水中で叩いたり打ち付けたりしないでください。電池/SDカード室カバーが開くことがあります。



安全上のご注意

必ずお読みください。

カメラを使用した後

- 水中での撮影後は以下の簡単なメンテナンスで、カメラの外観、品質、耐水性が保たれます。
- 海中で写真を撮影した後は、塩分を含まない水の入ったバケツでカメラを洗浄してください。電池/SDカード室カバーが閉じていることを確認し、バケツ1杯の水に10分ほど浸します。その後、水から取り出して、カメラとレンズを脱脂綿で拭いて乾かします。カメラを通気の良い日陰に置いて自然乾燥させます(直射日光に当てたり、風雨にさらされる場所に置かないでください)。カメラが完全に乾いたことを確認してから、電池/SDカード室 カバーを開けてください(脱脂綿を当てて水分をよく取るか、カバー周りの他の不純物を取り除いてから、電池/SDカード室 カバーを開けます)。
- 柔らかい糸くずの出ない布(繊維状の物質を防ぐため)でカメラとレンズの水滴を拭き取り、換気の良い場所において乾燥させます。電池カバーは乾燥しないうちに開けないでください。水気がある間に開けると、カメラに水が入る恐れがあります。開けるときは底面を下にして水滴がカメラ内部に入らないようにしてください。
- 電池カバーを開ける前に、必ずカバー内部の水滴を拭き取ってください。

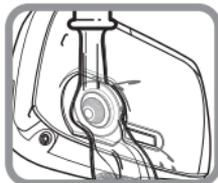
メンテナンス上の注意

- 防水のシーリング材やその収縮面の埃や砂をよく拭き取ってください。埃や砂が残っているとシーリング材や面を傷つけ、防水性が落ちる可能性があります。
- 石けん水、中性洗剤、アルコールまたは類似液体でカメラを洗浄しないでください。カメラの防水性が落ちる原因となります。
- 防水用シーリング材の経年変化により防水性能は低下します。

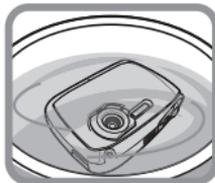
その他の注意

- 水中でカメラに水が入ったり、その他の問題が発生した場合、直ちに使用を中止し適切な処置を取ってください。
処置方法は販売店またはKenko「お客様相談室」にお尋ねください。

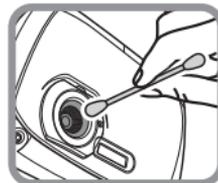
水道水で異物を洗い流します。



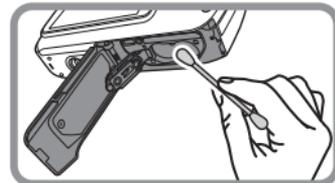
真水に10分程度浸します。



綿棒等で水滴を拭き取ります。



乾燥後、電池/SDカード室カバーを開きます。

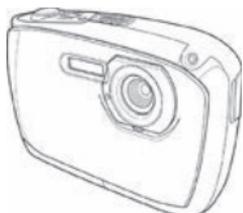




カメラの紹介

📁 セット内容

パッケージに、次の品目が同梱されていることを確認してください。
足りない品目や破損している品目がある場合、ただちに販売店に連絡してください。



カメラ本体



ポーチ



取扱説明書(本書)



USB-PC/TV接続ケーブル



ストラップ



単4形アルカリ乾電池(2本)



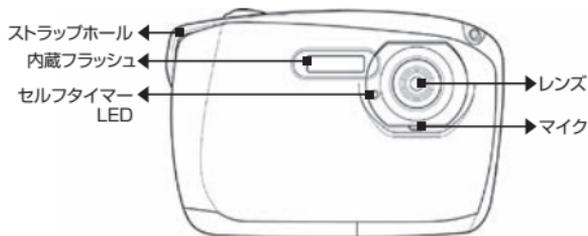
クイックスタートガイド



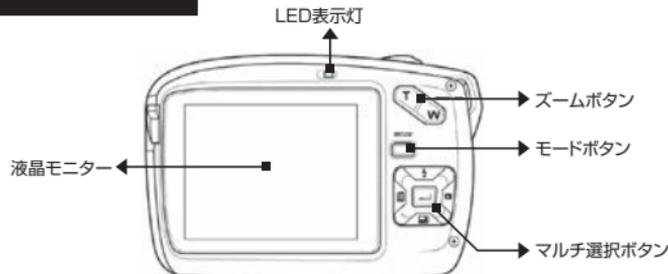
カメラの紹介

各部の名称

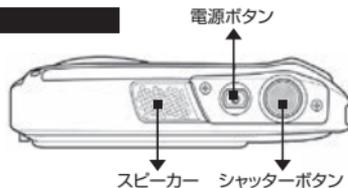
前面



背面



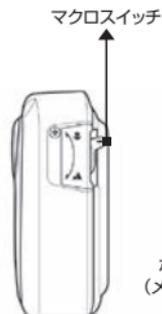
上面



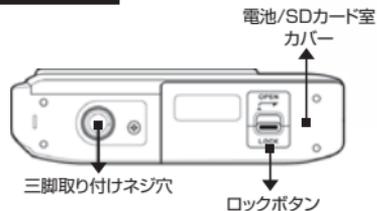
左側面



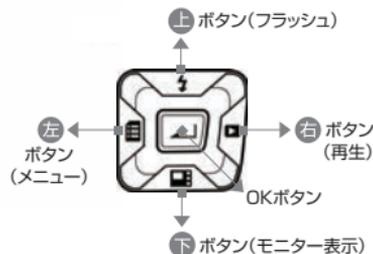
右側面



底面



マルチ選択ボタン





カメラの紹介

▶ ボタンの機能を紹介します

ボタン	名 称	機 能
	電源ボタン	電源をオン/オフします。
	シャッターボタン	静止画モードでシャッターボタンを押すと静止画を撮影します。 動画モードでシャッターボタンを押すと動画を撮影します。再度押すと録画を停止します。
	ズームボタン	静止画/動画の撮影時、ズームボタンになります。
	モードボタン	静止画/動画のモードを切り替えます。 P.19「モードの変更」をご覧ください。
	マクロスイッチ	撮影距離を切り替えます。 P.24「撮影距離」をご覧ください。



カメラの紹介

ボタン	名 称	機 能
	マルチ選択ボタン	<p>上ボタン:メニュー画面で上へ移動します。 (静止画撮影時、内蔵フラッシュのモード設定をします。 再生時、ファイルを移動します。)</p> <p>下ボタン:メニュー画面で下へ移動します。 (撮影時、液晶モニターのアイコン表示を切り替えます。 再生時、ファイルを移動します。)</p> <p>左ボタン:メニュー画面、サムネイル表示で左へ移動します。 (撮影・再生時、メニューボタンになります。)</p> <p>右ボタン:メニュー画面、サムネイル表示で右へ移動します。 (再生ボタンになります。)</p> <p> :OKボタン メニュー画面で項目の選択、設定を決定します。</p>



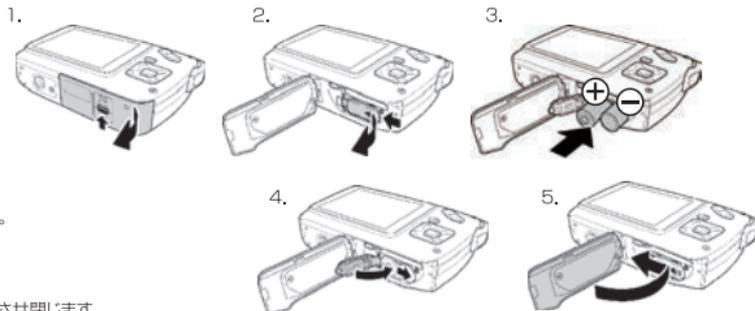
ご使用の前に

▶ 乾電池の取り付け

カメラに単4形アルカリ乾電池をセットします。

電池の取り付けは、ここに示す方法で行ってください。
電池の取り付け方法が正しくないと、カメラが破損したり、
火災、浸水の原因になることもあります。

1. ロックボタンを ▲ OPEN 方向に動かして解除をしながら、
電池/SDカード室カバーを ➡ 方向にスライドさせ開きます。
2. 内側の電池カバーを ▶ の方向へスライドさせ開きます。
3. ⊕ ⊖ 方向を確認して、単4形アルカリ乾電池をセットします。
4. 内側の電池カバーを軽く押しながら ▶ の反対方向にスライドさせ閉じます。
5. 電池/SDカード室及びカバーに砂等の異物や汚れがない事を確認してから
電池/SDカード室カバーを閉じて軽く押しながら ➡ と反対方向にスライドさせ、ロックを確認して下さい。
ロックが不十分な場合、防水性能が維持されません。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は⊕⊖方向に注意し、正しくセットしてください。



◆ 電池残量については、液晶モニター上のバッテリーアイコンに表示されます。

- 電池残量は充分です。
- 電池残量は約半分です。
- 電池残量がわずかです。予備の電池を用意してください。
- ✕ 電池残量がありません。電池を交換してください。

◆ 単4形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池をご使用ください。

ニッケル水素充電電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。

◆ オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、使用しないで下さい。

◆ 電池をカメラの中に入れてそのまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないとき(およそ1ヶ月以上)は電池を取り出してください。

◆ カメラの操作に必要な電力を得ることができないマンガン電池は、使用できません。

◆ 電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。

カメラを長時間使用すると電池およびカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



ご使用の前に

▶ アルカリ乾電池に関する安全上の注意 (対象:アルカリ乾電池使用カメラ)

⚠ 警告 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向にセットをしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

▶ リチウムイオン充電電池に関する安全上の注意 (対象:リチウムイオン充電電池使用カメラ)

⚠ 警告 付属のリチウムイオン充電電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時はフル充電してください。付属の充電器(ACアダプター)以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、充電(+)、(-)の逆方向にセットをしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。電解液が、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電電池をカメラから取り出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



Li-ion 不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで

充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



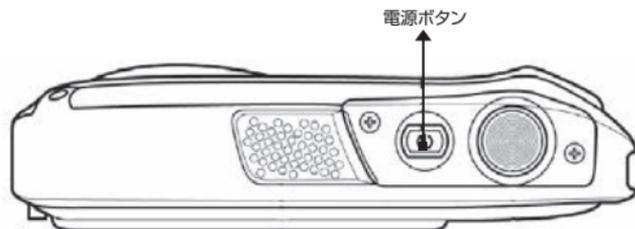
ご使用前に

▶ 電源のオン／オフ

電源ボタンを約1秒押すと電源がオンになります。

LED表示灯が緑色に点灯して液晶モニターがオンします。

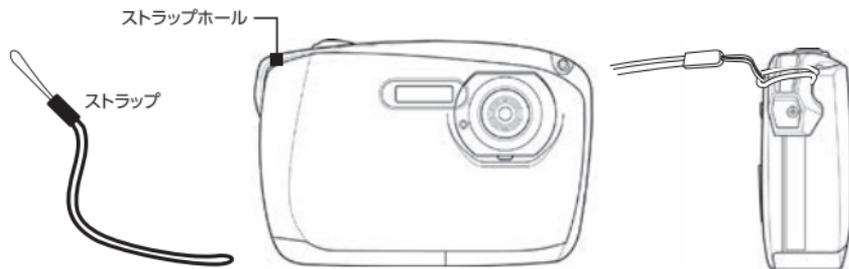
再度電源ボタンを押すと電源がオフになります。



▶ ストラップの取り付け

右の図を参考にして、

ストラップホールにストラップを取り付けてください。





ご使用の前に

▶ SD/SDHCメモリーカード(別売)を使用する。

内蔵メモリーにユーザー使用可能領域はありません。



SDメモリーカード



●このカメラに使用できるメモリーカードの仕様は、SDメモリーカード32MB～2GB、SDHCメモリーカード32GBまでです。その他の種類のカードを使用しますと、製品及びカードが故障する可能性があります。

▶ SD/SDHCメモリーカードを取り付ける

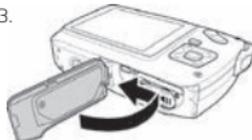
1.



2.



3.



SDメモリーカードはカメラ底面のSDメモリーカードスロットにセットします。

1. 電池/SDカード室カバーを開きます。開閉方法はP.13「乾電池の取り付け」を必ずご覧ください。
2. 左図のようにSDメモリーカードの接触面が上になるようにして、SDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
3. 開いている電池/SDカード室カバーを閉じ、ロックボタンをロックにします。
4. SDメモリーカードを取り外す時は、SDメモリーカードがカチッと音がするまで軽く押し込みます。SDメモリーカードが少し飛び出ます。



◆新しいSDメモリーカードを使用される際は、あらかじめSDメモリーカードのメモリーのフォーマット、初期化(P.18参照)をしてください。

◆撮影した画像に付けられるファイル名の番号(PHOT○○○○またはMPEG○○○○)は、SDメモリーカード内の画像を消去しても、連続してカウントされます。番号をリセットする場合は、カメラのフォーマット機能(P.18参照)でカードを初期化してください。



- 差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- SDメモリーカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- すべてのSDメモリーカードで動作を保証するものではありません。
- 他のカメラ等のファイルが保存されているSDメモリーカードをセットすると誤作動する場合があります。
- アダプターを使用してmicroSDメモリーカードの使用は、誤作動の原因になる場合がありますのでお勧めしません。

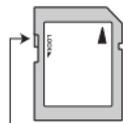


ご使用の前に

SD/SDHCメモリーカードを使用する前に



- ◆新しいSDメモリーカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリーカードをセットすると、カメラはSDメモリーカードを認識します。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.4~8に記載されていますので必ずよくお読みください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影/再生中にSDメモリーカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリーカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリーカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - SDメモリーカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモリーカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリーカードはロックされ、SDメモリーカードへの記録/消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録/消去する場合はロックを解除してください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。



ライトプロテクト
スイッチ

ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリーカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリーカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリーカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリーカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリーカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

▶ メモリーのフォーマット

メモリーをフォーマット(初期化)する機能です。



◆ カメラにSDメモリーカードがセットされている時は、SDメモリーカードがフォーマットされます。

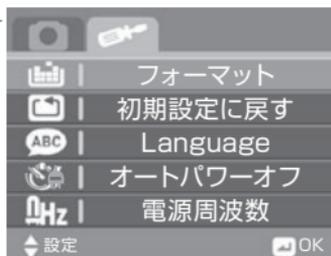


- SDメモリーカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリーカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリーカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください。(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません。)
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されてしまいます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチ(P.17参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. カメラの電源をオンにします。
2. マルチ選択ボタンの左(メニュー)ボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. シャッターボタンを押して「 設定メニュー」を表示します。
4. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して、 または を選択し、OKボタン押して決定します。
 : フォーマットしません。
 : フォーマットします。
6. 左(メニュー)ボタンを2度押して撮影画面に戻ります。



◆ 薄いブルー地が選択されています。





ご使用の前に

LEDランプ表示

表示灯	色	説明
LED表示灯	緑色の点灯	電源が入っています。
	赤色の速い点滅	電池の残量がありません。
	赤緑の交互点灯色	録画中です。
セルフタイマー LED	赤色の点滅	セルフタイマーが作動中です。
	赤色の速い点滅	セルフタイマーの残り時間が約2秒です。

モードの変更

モードボタンを押すことにモードが切り替わります。
 静止画ダイビングモード/動画ダイビングモードでは  アイコンが表示されます。
 ダイビングモードは、P.54をご覧ください。
 P.7~P.8の注意事項を必ずお読みください。





ご使用の前に

▶ 日付／時刻の設定

カメラを初めて使用する前に、日付／時刻を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. マルチ選択ボタンの左(メニュー)ボタンを押して「メニュー画面」表示します。
3. シャッターボタンを押して「 設定メニュー」を表示します。
4. 上または下ボタンを押して「日付／時刻」を選択し、OKボタンを押します。
5. サブメニューに入り、 または のいずれかを選択します。
 : 日付／時刻を設定しません。
 : 日付／時刻を設定します。
6. 年月日の表示順を上または下ボタンを押して選択します。
7. 次に右または左ボタンを押して項目を移動します。
8. すべての数値を調整したら、OKボタンを押して決定します。
9. 左ボタンを2度押して撮影画面に戻ります。



- ◆ 薄いブルー地が選択されています。
- ◆ 日付／時刻は、静止画・動画共にファイルデータとして記録されますので、できる限り正確に設定してください。





ご使用の前に

▶ 言語の設定(Language) (初期設定:日本語)

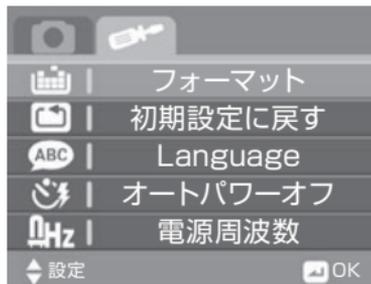
液晶モニターに表示する言語を設定します。

1. カメラの電源をオンにします。
2. マルチ選択ボタン(以降マルチ選択ボタンの記載を省略)の左(メニュー)ボタンを押して「メニュー画面」を表示します。
3. シャッターボタンを押して「 設定メニュー」を表示します。
4. 上または下ボタンを押して「Language」を選択し、OKボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して表示する言語を選択し、OKボタンを押して決定します。

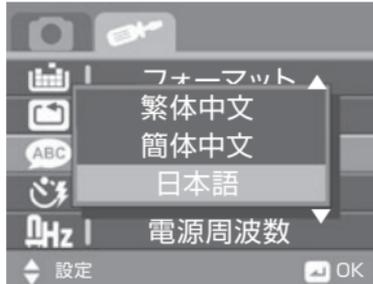
選択可能な言語は、
英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、
繁体字中国語、簡体字中国語、日本語です。

6. 左ボタンを2度押して撮影画面に戻ります。

4.



5.



- ◆ 日本語以外の言語を使用中に「初期設定に戻す」(リセット)すると、言語も日本語に戻りますのでご注意ください。
- ◆ 薄いブルー地が選択されています。



静止画モード

▶ 静止画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。本機は、「静止画モード」で起動します。
2. 液晶モニターで、被写体を確認し、必要に応じてズームを使用して構図を決定します。
3. しっかりとカメラを構えてシャッターボタンを押して撮影します。
4. 撮影された静止画は、個別のファイル名が付いて保存されます。



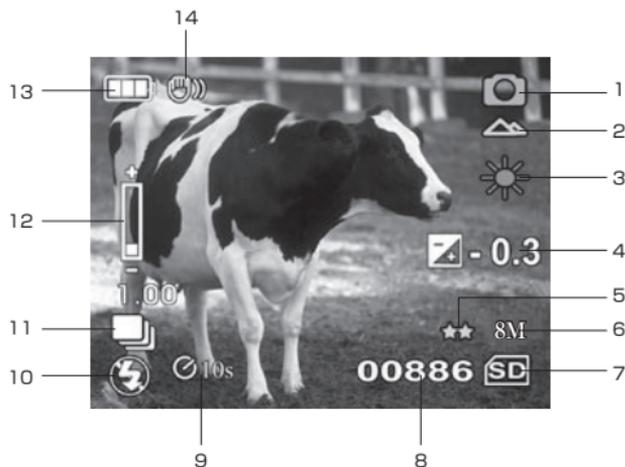
◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。





静止画モード

▶ 静止画モードの操作画面



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1		静止画モード
2		撮影距離(標準)
3		ホワイトバランス(晴天)
4		露出補正(-0.3)
5		画質(高画質)
6		静止画サイズ(8M)
7		メモリー表示 SD:SDメモリーカード使用中
8		撮影可能枚数(目安です)
9		セルフタイマー(10秒)
10		フラッシュ(発光禁止)
11		撮影モード(連写)
12		ズームインジケーター
13		電池残量
14		手ぶれ警告



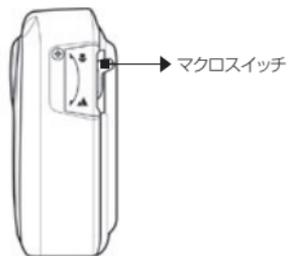
静止画モード

📷 撮影距離

マクロ(近接)モードでは、被写体に約20~21cmまで近づいて撮影することができます。
動画または静止画撮影時、マクロスイッチを👉にし、マクロ機能を有効にします。
液晶モニターにアイコン👉が表示されます。

標準撮影距離：約1.5m~∞

マクロ撮影距離：約20~21cm



◆ マクロモードにすると👉アイコンが表示されます。

📷 ズーム撮影

デジタル8倍のズームが搭載されています。

T側ボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。
W側ボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。



● ズームの倍率が大きくなると解像度は低下します。



静止画モード

内蔵フラッシュ

内蔵フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて変更します。

1. 上(フラッシュ)ボタンを押してフラッシュモードを切り替えます。

- ⚡ 自動 : 被写体周辺の光量が不足している場合、自動的に発光します。
- ⚡ 強制発光 : どんな状況でも発光します。逆光等での撮影時に選択します。
- 🚫 発光禁止 : どんな状況でも発光しません。博物館等の発光が禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている撮影時に選択します。

1.



- 内蔵フラッシュの有効範囲は約1.2m～1.8mです。



- ◆ フラッシュの充電中は、LED表示灯がゆっくり点滅して撮影できません。
- ◆ 電池残量が少ない場合、充電に時間がかかる場合があります。
- ◆ 静止画のみの機能です。
- ◆ マクロモードでは発光しません。
- ◆ 「連写」では発光しません。
- ◆ 電源をオフにすると、設定は発光禁止に戻ります。



静止画再生モード

▶ 静止画の再生

1. 静止画モード時、右(再生)ボタンを押します。
最後に撮影された静止画が液晶モニターに表示されます。
2. 上または下ボタンを押して再生する静止画を表示します。
3. ズームボタンのT側を押すと拡大表示されます。
W側を押すと縮小して元に戻ります。
4. 右ボタンをもう一度押すと、撮影モードに戻ります。





静止画再生モード

静止画ファイルのサムネイル表示

9画面のサムネイル表示されます。

1. 静止画再生モードにします。
2. ズームボタンのW側を押すと静止画ファイルの9画面のサムネイル表示されます。
動画ファイルの場合は、最初のシーンが表示されます。
3. 上下/左右ボタンを押して黄枠を移動してファイルを選択し、OKボタンを押すと選択されたファイルが一面面表示されます。
4. ズームボタンのW側を再び押すと9画面のサムネイル表示されます。



- ◆ サムネイル表示は「動画」「静止画」各々に表示されます。
動画と静止画が混合しての表示はされません。

2. 静止画ファイルのサムネイル画面



2. 動画ファイルのサムネイル画面



※説明のために作成したもので
一部実際と異なります。



静止画再生モード

▶ 静止画再生モードの操作画面



1		再生モード
2		メモリー表示 SD:SDメモリーカード使用中
3		ファイル番号
4		ファイル保護
5		DPOF設定
6		電池残量



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



動画モード

▶ 動画の撮影

1. カメラの電源をオンにします。モードボタンを押して「動画モード」にします。
2. 液晶モニターで、被写体を捉え、必要に応じてズームして構図を決めます。
3. シャッターボタンを押して、録画を開始します。
LED表示灯が点滅します。
4. シャッターボタンをもう一度押すと録画を停止します。
5. 撮影された動画は、個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。



● 動画1ファイルの最大サイズは、4GBです。



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



動画モード

▶ 動画モードの操作画面



1		動画モード
2		撮影距離(標準)
3		ホワイトバランス(晴天)
4		露出補正(-0.3)
5		画質(高画質)
6		動画サイズ(QVGA)
7		メモリー表示 SD:SDメモリーカード使用中
8		01:16:41 撮影可能時間(目安です)
9		ズームインジケーター 1.00
10		電池残量



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



動画モード

📷 撮影距離

P.24「撮影距離」をご覧ください。

📷 ズーム撮影

P.24「ズーム撮影」をご覧ください。



動画再生モード

▶ 動画の再生

1. 動画モード時、右(再生)ボタンを押します。
最後に撮影された動画の最初のシーンが静止して液晶モニターに表示されます。
2. 上または下ボタンを押して再生する動画を選択し、
OKボタンを押すと動画の再生が始まります。
3. 上ボタンを押すと早送り、左ボタンを押すと早戻しします。
4. OKボタンを押すと、再生が一時停止します。もう一度押すと、再生が再開します。
5. 下ボタンを押すと再生を終了します。動画ファイルの最初のシーンに戻ります。
6. 右ボタンをもう一度押すと、動画モードに戻ります。

動画再生モードアイコン



- ◆ 音量調整は、P.53「音量」をご覧ください。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



動画再生モード

▶ 動画再生モードの操作画面



1		再生モード
2		メモリー表示 SD:SDメモリーカード使用中
3	0021	ファイル番号
4		ファイル保護
5	00:00:03	再生ファイルの再生経過時間
6		再生/一時停止
7		電池残量
8	00:00:05	録画時間



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

▶ サムネイル表示

P.27「静止画ファイルのサムネイル表示」をご覧ください。



機能設定 静止画メニュー

▶ 静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。モードボタンを押して静止画モードにします。
2. 左(メニュー)ボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。



◆ 薄いブルー地が選択されています。

☑ 静止画サイズ(画像サイズ)(初期設定:8M)

静止画サイズを設定します。

1. 「画像サイズ」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - 1M:約100万画素
 - 3M:約300万画素
 - 5M:約500万画素
 - 8M:約800万画素
 - 20M:約2000万画素(ソフトウェア補間)
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。

1.



3.





機能設定 静止画メニュー

画質(初期設定:高画質)

画質を選びます。

1. 「画質」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

 高画質：高画質で撮影します。

 標準：標準画質で撮影します。

4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



◆ 高画質にするとデータ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる枚数が少なくなります。
(動画の場合、撮影できる時間が短くなります。)

1.



3.





機能設定 静止画メニュー

シーン(初期設定:自動)

撮影するシーンを設定し、より簡単に雰囲気のある撮影をします。

1. 「シーン」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- 自動 : 自動で最適に調整します。
- スポーツ : スポーツ等、早い動きの撮影に適しています。
- 夜景 : 夜景の撮影に適しています。
- ポートレイト : 人物の撮影に適しています。
- 風景 : 遠景の撮影に適しています。
- 逆光 : 逆光時の撮影に適しています。

4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.



3.





機能設定 静止画メニュー

☒ 露出補正(EV) (初期設定:0)

逆光での撮影等の場合、手動で露出補正をし、被写体を最適な明るさに近づけます。
補正範囲は+2.0~-2.0EVです。

1. 「EV」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して設定し、OKボタンを押して決定します。
補正範囲は+2.0~-2.0EV (1/3EVステップ)です。
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



- ◆ 逆光での撮影等の場合、手動で露出補正をし、被写体を最適な明るさに近づけます。
- ◆ 液晶モニターにアイコン ± 2.0 等が表示されます。

2.



3.





機能設定 静止画メニュー

☒ ホワイトバランス(初期設定:自動)

自動での色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状態に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. 「ホワイトバランス」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

- A** 自動 : 自動的に調整されます。
- 太陽光 : 屋外の太陽下の撮影に適しています。
- 曇り : 屋外で曇りあるいは日陰での撮影に適しています。
- 白熱灯 : 屋内で電球下での撮影に適しています。
- 蛍光灯 : 屋内で蛍光灯下での撮影に適しています。

4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。

1.



3.





機能設定 静止画メニュー

色効果(初期設定:カラー)

色効果を変更することで、印象の異なる写真を撮影できます。

1. 「色効果」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

■ カラー：効果を加えません。

■ セピア：セピア画像にします。

■ 白黒：白黒画像にします。

4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



◆ 電源をオフにしても設定はカラーに戻りませんのでご注意ください。

1.



2.





機能設定 静止画メニュー

☑ 日付プリント(初期設定:オフ)

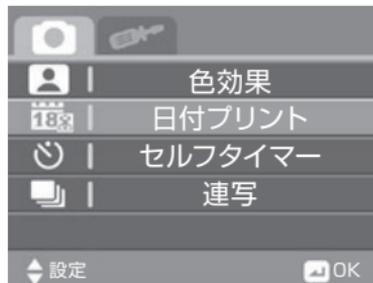
撮影する静止画の日付プリントを設定します。

1. 「日付プリント」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - オフ : 設定しません。
 - 日付 : 年月日をプリントします。
 - 日付/時間 : 年月日/時間をプリントします。
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



- ◆ 日付プリントの設定は、静止画専用メニューです。
- ◆ L版サイズでは日付プリントが欠ける場合があります。あらかじめご了承ください。

1.



2.





機能設定 静止画メニュー

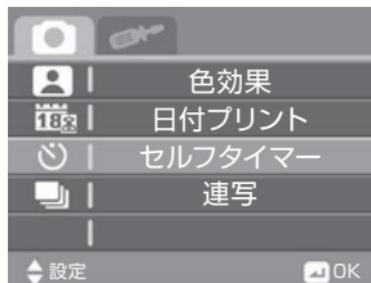
☒ セルフタイマー

1. 「セルフタイマー」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - ☒ : セルフタイマーを使用しません。
 - 🕒 5s : シャッターボタンを押してから約5秒後に撮影されます。
 - 🕒 10s : シャッターボタンを押してから約10秒後に撮影されます。
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。

1.



2.





機能設定 静止画メニュー

連続撮影(初期設定:1枚)

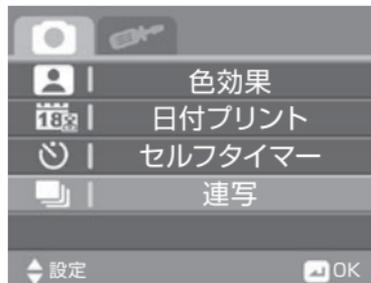
連続撮影(連写)を行うことができます。

1. 「連続撮影」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
 - 1枚 : シャッターを1回押すと1枚撮影します。
 - 連写 : シャッターを1回押すと約1秒間に3枚撮影します。
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



◆電源をオフにしても設定は1枚に戻りませんのでご注意ください。

1.



2.





▶ 動画メニュー

動画モードの設定を行います。

1. カメラの電源をオンにします。モードボタンを押して「動画モード」にします。
2. 左(メニュー)ボタンを押し、メニュー画面を表示します。
3. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押してサブメニューを表示します。



◆ 薄いブルー地が選択されています。

📷 動画サイズ(解像度)(初期設定:VGA)

動画サイズを設定します。

1. 「画像サイズ」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
QVGA: 320×240(30fps)
VGA : 640×480(30fps)
4. 左ボタンをもう一度押すと、撮影画面に戻ります。



● サイズを大きくすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードで撮影できる時間が短くなります。

1.



3.





画質

静止画と同様です。P.35をご覧ください。

露出補正(EV)

静止画と同様です。P.37をご覧ください。

ホワイトバランス

静止画と同様です。P.38をご覧ください。



機能設定 静止画再生メニュー

▶ 静止画再生メニュー

静止画再生メニューを表示します。

1. カメラの電源をオンにします。本機は静止画モードで起動します。
2. 右(再生)ボタンを押します。
3. 左(メニュー)ボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。



◆ 薄いブルー地が選択されています。

🗑️ 消去

ファイルを消去するには、この機能を使用します。

1. 「消去」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

🗑️ : キャンセル

🗑️ : 一枚消去

🗑️ : 全消去



◆ 一枚消去は、直前に表示されていたファイル(静止画・動画)になります。画像を確認してから消去してください。

1.



2.





機能設定 静止画再生メニュー

☒ 〈 一枚消去〉を選択した場合

- A-1. 直前に表示されたファイルが削除されますので、
上または下ボタンを押して削除するファイルを選択します。
- A-2. 「静止画再生メニュー」から「消去」→「一枚消去」を選択します。
- A-3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
- : 削除しません。
 - : ファイルを削除します。
- A-4. 続けて他のファイルを消去する場合は、ファイルを選択してA-1から繰り返します。
- A-5. 再生画面に戻ります。

☒ 〈 全消去〉を選択した場合

- B-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
- : 削除しません。
 - : ファイルを削除します。
- B-2. 表示は再生画面に戻ります。

A-2.



B-1.



- ファイルは、一度削除すると元に戻せません。削除する前によく確認し、必要に応じてバックアップを取ってください。
- 保護設定ファイルは削除されません。保護設定ファイルを削除するには、ファイルの保護を解除する必要があります。



機能設定 静止画再生メニュー

🔍 スライドショー(初期設定:オフ)

全ての静止画を一定間隔で順次表示することができます。

1. 「スライドショー」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

: スライドショーしません。

3s : 約3秒間隔で全ての静止画を表示します。

5s : 約5秒間隔で全ての静止画を表示します。

10s : 約10秒間隔で全ての静止画を表示します。

4. スライドショーを開始した場合、もう一度OKボタンを押すとスライドショーを終了して再生画面に戻ります。

1.



2.





機能設定 静止画再生メニュー

☒ DPOF(初期設定:オフ)

DPOFは、DPOFをサポートするプリンターを使い、SD/SDHCメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 「DPOF」を選択します。
2. OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

オフ : 設定しません。

選択 : 選択した静止画をDPOF設定します。

すべて : すべての静止画をDPOF設定します。

☒ 〈選択DPOF設定〉を選択した場合

A-1. 直前に表示されたファイルをDPOF設定しますので、上または下ボタンを押して、DPOF設定する画像を選択します。

A-2. 「静止画再生メニュー」から「DPOF」→「選択」を選択します。上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択します。

オフ: 設定しません。

オン: DPOF設定します。

上または下ボタンを押してDPOF設定枚数を設定し、OKボタンを押して決定します。1画像最大9枚まで設定できます。指定を取り消す場合はDPOF設定枚数0枚に設定してください。

A-3. 他の画像も設定する場合は、画像を選択し、A-2から繰り返します。

A-4. 再生画面に戻ります。

1.



3.



A-2.



- ◆ 設定した画像は「 DPOF」アイコンと枚数が表示されます。
- ◆ 選択DPOFは、直前に表示されていたファイル(静止画)に設定されます。



機能設定 静止画再生メニュー

ⓧ 〈すべてDPOF設定〉を選択した場合

B-1. 上または下ボタンを押して、下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オフ：DPOF設定しません

オン：すべてDPOF設定します。

B-2. 上または下ボタンを押してDPOF設定枚数で設定します。

設定を取り消す場合は、DPOF設定枚数を0枚にしてください。

B-3. 再生画面に戻ります。



- この機能は、SD/SDHCメモリーカードがセットされている場合のみ利用できます。
- 日付・時間は、カメラに設定されたものが印字されます。撮影前に日付・時刻を正確に設定してください。P.20をご覧ください。
- DPOFは静止画専用メニューです。
- 〈すべてのDPOF設定〉をした場合、すべての静止画がセットした枚数に設定されます。



機能設定 静止画再生メニュー

保護(画像プロテクト)

誤って削除されないようにファイルを保護します。

1. 「保護」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

: 保護しません。

: 一枚保護。

: 全保護。

: 選択保護。

「 一枚保護」を選択した場合

- A-1. 直前に表示されたファイルを保護設定しますので、
左または右ボタンを押して保護するファイルを選択します。
- A-2. 「静止画再生メニュー」から「保護」→「一枚保護」を選択します。
上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
- : 保護しません。
- : ファイルを保護します。
- A-3. 他のファイルを保護する場合は保護するファイルを選択し、A-1から繰り返します。
- A-4. 再生画面に戻ります。

1.



3.



A-2.





機能設定 静止画再生メニュー

⌕ < 全保護 > を選択した場合

B-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

: 保護しません。

: ファイルを保護します。

B-2. オフを選択すると、すべて保護解除になります。

B-3. 再生画面に戻ります。

⌕ < 選択保護 > を選択した場合

C-1. 9画面のサムネイル表示されます。

上/下または左/右ボタンを押して黄色枠を移動して、保護するファイルを選択し、OKボタンを押します。

C-2. 他のファイルを保護する場合は、黄色枠を移動してOKボタンを押します。この操作を繰り返します。

C-3. 保護されたファイルを再度OKボタンを押すと、保護が解除されます。

C-4. モードボタンを押して撮影画面に戻ります。



- 保護されたファイルは、 アイコンが表示されます。
- ファイルの保護を解除するには、保護メニューから保護されたファイルを選択し、再度保護操作をすると解除されます。
ファイルの保護が解除されると、 保護アイコンの表示が消えます。
- 一枚保護は、直前に表示されていたファイル(静止画・動画)に設定されます。



▶ 動画再生メニュー

動画再生メニューを表示します。

1. カメラの電源をオンにします。本機は「静止画モード」で起動します。
2. モードボタンを押して動画モードにします。
3. 右(再生)ボタンを押します。
4. 左(メニュー)ボタンを押します。
5. 上または下ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。



◆ 薄いブルー地が選択されています。

▶ スライドショー

操作は静止画と同様です。P.47をご覧ください。動画の場合は各ファイル最初のシーンがスライドショー表示されます。全編は再生されません。

▶ 消去

静止画と同様です。P.45をご覧ください。

▶ 保護(画像プロテクト)

静止画と同様です。P.50をご覧ください。



機能設定 動画再生メニュー

🔊 音量(初期設定:4)

動画音声の再生音量を調整します。

1. 「音量」を選択します。
2. OKボタンを押してサブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。
1～4の数字から(1が一番小さい音量です。)選択します。
4. 左ボタンを押すと再生画面に戻ります。



◆ DSC808Wは防水カメラですので、マイク性能が一般のカメラより劣ります。あらかじめご了承ください。

1.





ダイビングモード

▶ ダイビングモード

ダイビングモードでは水中での静止画・動画撮影時、ホワイトバランス設定が自動的に調整され、青カブリを軽減します。

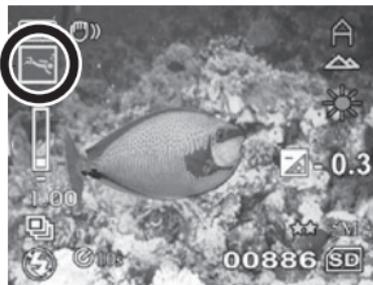
1. 電源ボタンを押してカメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押すごとにモードが切り替わります。



3. ダイビングモードにすると液晶モニターに  アイコン表示します。

ダイビングモード
アイコン

3.



- ◆ 水中撮影での青味を軽減します。
- ◆ ホワイトバランス以外の設定は、動画・静止画モード同様に行えます。
- ◆ 設定により表示されるアイコンは異なります。



- 必ずP.5～P.8の安全上のご注意をお読みください。
- 注意事項を怠った場合の故障は、保証規定外となる場合があります。
- 乾電池、SDカードをセットしたDSC808Wは、真水および海水に浮きません。
水中で落下した場合、水深3mを超えると防水性能を維持できませんのでご注意ください。



基本設定

設定メニュー

カメラの基本機能を設定します。

1. カメラの電源をオンにし、左(メニュー)ボタンを押し「メニュー画面」を表示します。
2. シャッターボタンを押しして「 設定メニュー」を表示します。
3. 上または下ボタン押しして項目を選択して、OKボタンを押しします。



◆ 薄いブルー地が選択されています。

フォーマット

P.18「メモリーのフォーマット」をご覧ください。

初期設定に戻す

カメラの設定を工場出荷の状態に戻します。

1. 「初期設定に戻す」を選択します。
2. OKボタンを押しして、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押しして下記のいずれかを選択し、OKボタンを押しして決定します。
 - オフ：初期設定に戻しません。
 - オン：初期設定に戻します。
4. 左ボタンを2度押しして撮影モードに戻ります。



◆ 初期設定に戻す(リセット)しても日付/時刻は、初期設定に戻りません。

1.



2.





基本設定

言語(表示言語)

P.21「言語の設定」をご覧ください。

自動電源オフ(オートパワーオフ)(初期設定:5分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため、カメラの電源が自動的にオフになります。

- 1.「オートパワーオフ」を選択します。
2. OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

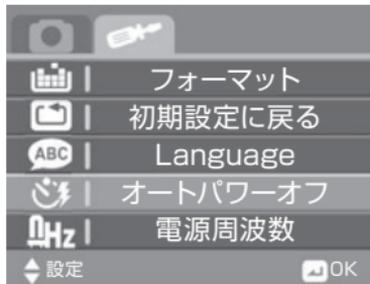
オフ:自動的にオフしません。

1分:1分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

5分:5分間操作をしないと、電源が自動的にオフになります。

4. 左ボタンを2度押しして撮影モードに戻ります。

1.



2.





基本設定

電源周波数(初期設定:50Hz)

撮影場所によって、正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 「電源周波数」を選択します。
2. OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
60Hz: 電源周波数を60Hzにします。
50Hz: 電源周波数を50Hzにします。
4. 左ボタンを2度押しして撮影モードに戻ります。



- ◆ 日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。
静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

1.



2.





基本設定

☒ テレビ出力方式(TV出力)(初期設定:NTSC)

テレビ出力信号をご使用の国・地域に合わせて切り替えます。

1. 「TV出力」を選択します。
2. OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。
NTSC: 日本・米国・カナダ・台湾
PAL : ヨーロッパとアジア(日本・台湾を除く)
4. 左ボタンを2度押しして撮影モードに戻ります。



- ◆ NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒になったりします。
- ◆ 撮影した画像の出力方式の選択です。撮影時には関係ありません。

☒ 日付/時刻の設定

P.20「日付/時刻の設定」を参照してください。

1.



3.





基本設定

🔊 ビープ音の設定(初期設定:オン)

カメラの操作音を設定します。

1. 「ビープ音」を選択します。
2. OKボタンを押して、サブメニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して、 または を選択し、OKボタン押して決定します。
 オフ: ビープ音をオフにします。
 オン: ビープ音をオンにします。
4. 左ボタンを2度押して撮影モードに戻ります。



◆ ビープ音をオフに設定すると、起動音・シャッター音もオフになります。

3.



4.





静止画のプリント

▶ 静止画のプリント

本機はDPS(ダイレクトプリントシステム)機能を装備していません。

静止画のプリントは、付属のUSB-PC/TV接続ケーブルでパソコンに接続またはSDカードリーダー(別売)を使用して

画像データをパソコンに取り込み、パソコンよりプリンターへ出力してください。

SDカードを直接プリンターに挿入(お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。)してプリントができるプリンターもございます。

SDカードをカメラ店等に持参してプリントする方法もあります。



◆ プリント方法はカメラ店等にご相談ください。

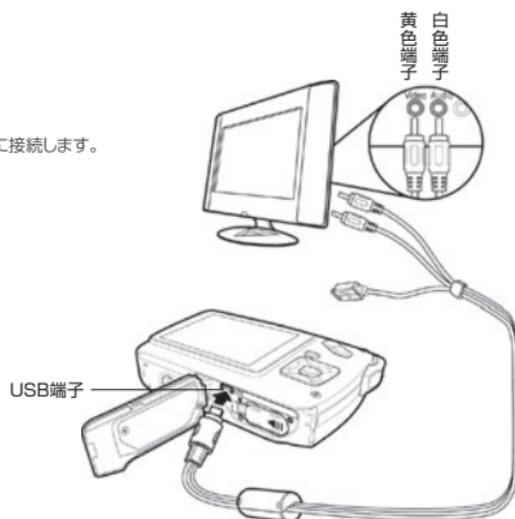


テレビとの接続

▶ テレビとの接続

右図を参照して、付属のUSB-PC/TV接続ケーブルを使用し、カメラをテレビに接続します。

1. テレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC/TV接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラのUSB端子に接続します。
3. もう一方の黄色端子をテレビの映像入力端子に、白色端子を音声入力端子に接続します。
カメラの液晶モニター表示は自動的にオフになります。
4. テレビの入力切り替えをビデオ入力モードにセットします。
5. 動画/静止画を再生します。再生の手順はカメラの液晶モニター使用時と同様です。



- ◆ テレビ入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- ◆ NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れます。P.58の「テレビ出力方式」をご覧ください。



パソコンとの接続

▶ カメラとパソコンの接続

▶ パソコンに接続する

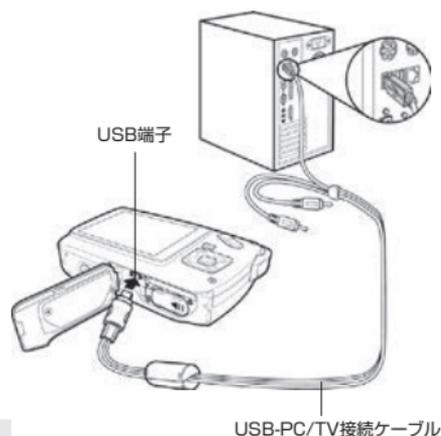
1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. 付属のUSB-PC/TV接続ケーブルの小さいUSB端子(ミニUSB)をカメラに接続します。
3. もう一方のUSB端子(大きい)をパソコンに接続します。
USBモードが表示されます。上または下ボタンを押して、「PC」を選択して、OKボタンを押します。
カメラの液晶モニター表示は自動的にオフになります。
初めて接続した場合、パソコンのモニターに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示され、しばらくして「デバイスを使用する準備ができました」と表示されます。
4. 「スタート」→「コンピュータ」→「リムーバブルディスク」
→「DCIM」→「100DSCIM」の順にクリックします。
「100DSCIM」に動画・静止画のファイルがあります。



- ◆ USBハブや拡張USBポートで接続した場合、カメラが認識されなかったり、エラーメッセージが表示されることがあります。
- ◆ お使いのコンピュータにより表示が異なる場合があります。
- ◆ USB-PC/TV接続ケーブルを外す場合は、各OSに適した安全な方法で行ってください。
- ◆ Windows 7(64bit)をご使用のお客様はP.68をご覧ください。

▶ マス ストレージ

カメラをパソコンに接続すると、カメラの内蔵メモリーまたはSDメモリーカードのファイルがマスストレージ(記録媒体)として表示されます。ドライバのインストールは不要です。



3.





パソコンとの接続

転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC/TV接続ケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリー、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。



パソコンとの接続

▶ ソフトウェアについて

▶ ドライバー

Windows XP(SP2)／Vista(32bit)／7(32bit)では不要です。



- ◆ パソコンで動画を再生する場合、データを一度パソコンに取り込んでからWindowsに標準装備された「Windows Media Player」で再生してください。
- ◆ DSC808Wには、補正・編集用ソフトウェアは付属していません。



トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったらもう一度確認、点検してください。

📷 カメラ操作時のトラブル

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.13参照) マンガン乾電池では十分な電力を得られませんので使用できません。
	電池が正しくセットされていないのでは?	電池の向きを確認して、正しい方向にセットしてください。(P.13参照)
カメラの電源が突然切れる。	電源の自動電源オフ機能が作動したのでは?	電源ボタンを押して、再度電源をオンにしてください。(P.15参照)
	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.13参照)
画像が保存されない。	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外したのでは?	画像が保存される前に電池やSDカードを取り外さないでください。(P.13、16参照)
セルフタイマーを使用中に電源が切れる。	電池の残量がないのでは?	新しい単4形アルカリ乾電池をセットしてください。(P.13参照)
焦点が合わない。	撮影距離が適正でないのでは?	正しい距離で撮影し、近接撮影の場合はマクロモードを選択してください。(P.24参照)
SDメモリーカードが使用できない。	SDメモリーカードがロックされているのでは?	SDメモリーカードに付いている“ライトプロテクトスイッチ”がロックされていると、データの記録・消去を行うことができません。ロックを解除してください。(P.17参照)
	SDメモリーカードに、他のカメラで撮影した画像が含まれているのでは?	SDメモリーカードを本製品でフォーマットしてください。(P.18参照)
すべてのボタンが作動しない。	ソフトウェアおよびハードウェアが何らかの刺激等を受けたのでは?	電池をカメラから取り外し、入れ直してください。(P.13参照)



仕様

▶ 記録可能枚数／時間の目安

▶ SD/SDHCメモリーカード

静止画

静止画サイズ	SDメモリーカード		SDHCメモリーカード							
	2GB		4GB		8GB		16GB		32GB	
	画質		画質		画質		画質		画質	
	高画質	標準	高画質	標準	高画質	標準	高画質	標準	高画質	標準
1M	16545枚	20883枚	34220枚	42618枚	61438枚	81527枚	/	/	/	/
3M	8650枚	12843枚	16965枚	25918枚	31352枚	48014枚	58683枚	/	/	/
5M	5908枚	9646枚	10975枚	18329枚	20412枚	34921枚	40687枚	65350枚	79621枚	/
8M	3542枚	6365枚	6757枚	12023枚	12371枚	22757枚	25104枚	43264枚	47575枚	88550枚

動画

動画サイズ	SDメモリーカード		SDHCメモリーカード							
	2GB		4GB		8GB		16GB		32GB	
	画質：高画質		画質：高画質		画質：高画質		画質：高画質		画質：高画質	
QVGA	62分		138分		265分		/		/	
VGA	24分		49分		91分		198分		394分	



- ◆ 撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。
- ◆ 記録可能枚数／時間に達する前に電池がなくなる場合がございます。



仕様

▶ 仕様

イメージセンサー	1/3.2型 CMOS
総画素数	808万画素
有効画素数	約800万画素(静止画時)
レンズ	f = 5.1mm F 3.2
内蔵メモリー	ユーザー使用可能領域なし
外部メモリー	SDメモリーカード : 32MB~2GB SDHCメモリーカード: 4GB~32GB
35mm判フィルム換算	43mm相当
撮影距離	標準 : 約1.5m ~ ∞ マクロ: 約20cm ~21cm
ファイル形式	静止画: JPEG 動画: MJPEG (AVI)
静止画サイズ	8M、5M、3M、1M
動画サイズ	VGA : 640×480 (30fps) QVGA: 320×240 (30fps)
ズーム	デジタル8倍
液晶モニター	2.5型 TFT
音声形式	PCM
セルフタイマー	オフ、5秒、10秒
テレビ出力	NTSC、PAL
シャッタースピード	静止画 1/2000~1/8秒

内蔵フラッシュ	モード: 自動、強制発光、発光禁止 有効範囲: 約1.2~1.8 m
ホワイトバランス	自動、太陽光、曇り、白熱灯、蛍光灯
露出補正	±2.0EV (1/3EVステップ)
電源	単4形アルカリ乾電池 2本
出入力ポート	USB 1.1
寸法	約102(W)X64(H)X26(D)mm
重量	約118g (付属品、電池を含まず) 約143g (電池、SDメモリーカードを含む参考値)

■ 同梱品

カメラ本体、USB-PC/TV接続ケーブル、ポーチ、ストラップ、
単4形アルカリ乾電池(2本)、取扱説明書



仕様

▶ パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(1.1以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
XP(SP2) / Vista(32bit) / 7(32bit)	
CPU	Intel Pentium IV 2.8GHz以上
メモリー	512MB以上(2GB以上を推奨)
ハードディスクの空き容量	800MB以上
ドライブ	CD-ROMドライブ必須
ビデオカード	RAM 64MB以上
インターフェース	USB1.1/2.0

動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Windows OSをアップグレードしたパソコンでは動作保証いたしません。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。



- Windows 7(64bit)をお使いのお客様は、付属USB-PC/TV接続ケーブルを使用してパソコンへの接続はできません。SD/SDHCカードリーダー(別売品)を使用してパソコンに取り込んでください。



メモ

CE FC